

視 察 研 修 等 報 告 書

令和 7 年 10 月 15 日



坂井市議会

議 長 佐藤 寛治 殿

会 派 名 志 政 会
報 告 者 古屋 信二

1. 日 時 令和7年10月2日(木)～3日(金)

2. 研修先 2日(木)3日(金)
幕張メッセ5～7・9・10ホール
千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

3. 研修内容 2日(木)農業WEEK セミナー受講① 15:00～16:00
ローカルビジネスの鍵を握るのは「地域一体型6次産業化」だ！
スマート農業EXPO視察
3日(金)農業WEEK セミナー受講② 11:00～11:40
J-クレジット等環境価値市場における農業分野の事業開発事例
農業脱炭素・SDGsEXPO 視察

4. 参 加 者 古屋 信二

5. 責 任 者 名 古屋 信二

6. 講演内容

セミナー①

昨今、気候変動や社会情勢を含めて外部環境が激変している中で農林漁業は特に厳しい環境を迎えている。

地方の基幹産業である農林漁業を次世代に繋ぐために地域資源を活かした地域一体の取り組みが注目されており、そのポイントについて事例を用いて解説する。

講師 ㈱食農夢創 代表取締役 仲野 真人

セミナー②

フェイガーは農業分野のカーボンクレジットにおいて国内最大級の生成、販売量を担う事業者。

水稻、バイオ炭、茶畑、畜産等農業分野における J・クレジットの生成販売と農業×環境分野への新規参入支援を行う立場から、事業開発事例の最近動向を講演。

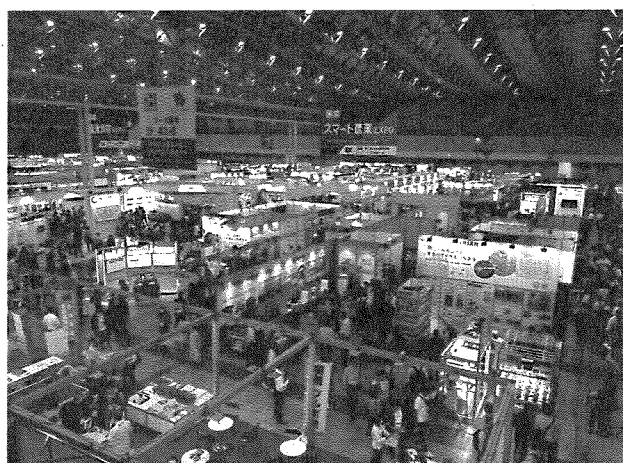
講師 (株)フェイガー 上本 絵美

7. 所見・感想等

今回の「農業 WEEK」では、地域一体となった 6 次産業化の推進や、農業分野における脱炭素・環境価値創出の最新動向について学ぶことができた。特に、仲野真人氏によるセミナーでは、地域資源を最大限に活かした「地域一体型 6 次産業化」が地方創生の鍵となることを再認識した。単なる生産・販売の枠を超え、観光・教育・福祉など他分野と連携することで、地域経済の循環と若手の就農促進につながることを示された。

また、上本絵美氏のセミナーでは、農業分野におけるカーボンクレジット事業の最新事例を通じ、環境対策と収益性の両立が可能であることを学んだ。脱炭素や SDGs への対応が、今後の農業経営における新たな価値創造の軸となることを実感した。

これらの学びを通じ、坂井市においても地域資源や特産品を活かした 6 次産業化の推進、ならびに環境価値を高める農業施策の導入を検討することが重要と感じた。持続可能で魅力ある農業の実現に向け、行政と生産者、企業、地域住民が一体となって取り組むことが期待される。



視察風景①



視察風景②